

平成28年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

常盤台地域ケアプラザ

2 事業計画

地域の現状と課題について

常盤台地域ケアプラザの4連合町内会地区（上星川地区・常盤台地区・中央東部地区・和田地区）における共通の課題は、①更なる地域ネットワークづくり「つながり」の強化②子ども、高齢者、障がい者等の要援護者支援を含む住民同士の「支え合い」の推進③災害を見据えた日頃からの「防災」活動④地域におけるボランティア等新たな「人材の発掘」等が挙げられます。

また、本年度は第3期地域福祉保健計画(ほっとなまちづくり)の地区別計画（5ヵ年計画）の実施初年度となります。

地区支援チーム(区役所、社会福祉協議会、地域ケアプラザ)の一員として懇談会等の様々な場を通じて計画推進の一助を担ってまいります。

各地域の状況としましては、常盤台地区は戸建自治会とマンション自治会で取組み状況に濃淡があり、一律の推進が難しいことが課題となっておりますが、地域のきずな作りと担い手の発掘を目的として「地域支えあいマップ」と「地域人材バンク」を連合町内会の重点事業に位置付けており、地域ケアプラザとしてはワークショップの場を活用しながら「地域人材バンク」の更なる活用のお手伝いをしていきます

上星川地区、和田地区は中心エリアが本ケアプラザから離れているうえ、坂道があるため頻繁な来館が難しく、貸室利用は他ケアプラザを多く利用されているといった課題が共通しています。然しながら両地域共サロン・ミニデイ・配食等の福祉活動が活発に行われており、地域ケアプラザとして出張講座等を増やして地域活動との連携を模索していきます。また、福祉・保健に関するご相談が多い地域でもあるため、迅速に対応・訪問するよう留意します。

中央東部地区は狭隘道路や坂道の多さ、住民が集まれる公共施設が無いといった地理的な課題があります。けれども地域活動は大変盛んなエリアで、ケアプラザとして老人会や食事会等への出張に力を入れています。また、この地域は認知症対策に力を入れており、「認知症カフェ」の開催検討がすすんでいます。地域ケアプラザとしても企画段階からの支援をしていきます。また、鎌谷地区の介護予防事業をケアプラザ主導で展開していきます。

本ケアプラザ担当地域は、山坂が多くプラザに足を運びにくい方々も多くおられます。出来るだけ現地に足を運ぶことで、地域住民に負担を掛けないように配慮するとともに、各地域住民の方々との一歩踏み込んだ話し合いができる関係づくり、協働できる関係づくりを目指していきます。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

地域ケアプラザは地域の様々な方が利用される施設であることを踏まえて、ご利用者が安心・安全にご利用いただけるような施設管理に努めてまいります。

具体的には、空調設備、電気設備、消防設備、自動ドア、エレベーター等の保守点検については、専門の事業者にて委託して定められた内容の点検を行い、各事業者との連絡調整により確実な現状把握を行います。また、建築基準法にともなう点検を実施し、その結果を区に報告し、適切な保守・修繕の計画を行います。

また、館内の清掃は事業者によって各月の休館日に行い、その他毎日の館内点検・清掃等は職員が行います。植栽等は職員・ボランティアによって保全管理します。

1階デイサービスフロアの清掃は休館日前日である第4日曜日に行います。清掃日を分けることで、各々の清掃により時間をかけることが可能です。

イ 効率的な運営への取組について

(1) ケアプラザの運営費は税金から支出される指定管理料、そして介護保険料と税金を財源とした介護報酬および利用者からの利用料金からなっています。いずれも利用者が満足を得るサービスの対価であることを、職員一同肝に銘ずる必要があります。そのため、利用者の満足度を引き上げる計画性をもった事業執行を行わねばなりません。

(2) 施設利用者の満足度を上げるためには、地域・利用者のニーズに根ざした事業展開を図ることが必要であり、地域活動、地域包括、居宅介護支援、通所介護の各部門とも適切な年間事業計画のもとで事業を行います。

(3) 利用料金収支の健全、運営費の適切な運用には、事業計画のもとで適切な職員配置によって人件費の節約を図ることが求められます。専門的に配置されている職員が自らの職域のみに埋没することなく、プラザ全体の協働意識の中で専門性を発揮し、それを補佐して効率的な事業執行のために適時非常勤職員の雇用をします。また施設管理や通所介護部門においてはボランティアの協力のもとで経費節減を図ります。

(4) 施設の省エネを実行するため、国の省エネ法に基づく「管理標準」を策定します。マニュアルを定めて、しっかりと省エネ対策に取り組み、さらに取組状況を把握することでより効率的な対策を図ります。

(5) 施設・設備管理においては確実な保守点検により、早い対処によって長期の経年使用ができるよう努めます。修繕については区と協議の上適切に対応します。

(6) 経費節減によって得た利用料金収入は、新たな事業計画の資金とし、また安定した雇用を確保するための財源として有効活用します。

(7) 地域ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関しましては、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら全体の事務作業の効率化に努めてまいります。

(8) 建物管理、保守等の経費を合築施設のコミュニティハウスと適切に按分負担して負担の効率化を図ります。

ウ 苦情受付体制について

各種講座や自主事業で実施するアンケート、及び年1回実施するケアプラザ全体のアンケートを集計、分析することでニーズ把握に努めるとともに、期限を設けて振り返りと改善を行ない施設運営に反映させています。

また、出張講座やワークショップ、町内会への出席等、直接地域の皆様の意見を伺う機会を設けています。

本プラザ入口付近の目に付きやすい場所に意見箱を設置しており、寄せられた意見の回答を意見箱の上に掲示していきます。

様々なご意見・ご要望・苦情に対して、事業毎に苦情相談窓口を設置して対応していきます。寄せられた苦情については、施設内の事故・苦情解決委員会において施設としての対応を検討してまいります。改善できるものについては、できるだけ早く改めるよう努めます。

また苦情解決マニュアルを策定し、事業所としての苦情対応の基本について周知しています。

さらに第三者委員を2名委嘱し、第三者委員に直接連絡できるように氏名・連絡先を掲示していきます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防災に関しては、消防法に則り合築コミュニティハウスとの共同防火管理協議会を設置して消防計画を作成し、統括防火管理者を選任していきます。

年間2回の防災訓練を行うと同時に、消防機器点検を実施していきます。

また、非常災害時における特別避難場所としての機能を果たすため、応急備蓄物資の整備を進めていきます。

防犯対策としては、職員による日々の開館・閉館時間の記録を行っており、職員不在時間の把握に努めています。建物警備については、もし閉館時間帯に異変が起きた場合には警備会社が警備員を派遣し、地域ケアプラザ責任者に電話報告を行います。また、職員による日々の点検・清掃記録を実施していきます。

オ 事故防止への取組について

日々の職員及び利用者の方々の気づきによって建物内の危険箇所を把握し、改善に努めていきます。

万が一事故が発生した場合には、本ケアプラザで定めた事故予防・事故対応マニュアルに沿った事故対応・事故報告を行います。

日頃からケアプラザ内の事故・苦情解決委員会において、マニュアル内容を周知するとともに、ヒヤリハットを含めたプラザ内の事故・苦情について、報告及び再発防止策の検討を行ってまいります。

事故予防・事故対応マニュアルは、事務所に誰でも閲覧できるようにしています。

また、本プラザ内で発生した事故報告書を作成、回覧して周知するとともに、介護保険事業の場合には、「介護保険事業者における事故発生時の報告取扱い要領」に従い発生後速やかに区、市に報告いたします。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

(1) 個人情報の保護について

- ①横浜市個人情報保護条例、法人マニュアルをもとに年1回以上職員に対しての研修を行い、また職員の採用毎に研修を行って個人情報漏えい防止チェックシートを記入してもらうとともに、個人情報保護に関する誓約書の提出を求めます。
- ②電算機に関する個人情報はパスワード設定による管理を行い、USBメモリー等の電磁媒体による個人情報管理は禁止としており、ノートパソコンは鍵のかかる場所に保管しています。
- ③コンピューターはLAN構築し、各端末機に立ち上げの際のパスワード設定を行い、安全管理していきます。また、ウイルス対策等のWEB上での安全管理については、ウイルス対策ソフトを導入し、安全対策を行いました。また、インターネット接続の際はプロバイダーによるフィルタリングを行い、安全性を高めました。
- ⑤個人情報の送付は郵送を原則とし、請求書等の郵便物の封入は二人以上のチェックにて行います。FAXによる場合は、マスキングのうえ二人以上の確認で送付します。
- ⑥個人情報が記載されたファイル等の施設外持ち出しは、事前に上司の許可を得た場合以外は禁止し、持ち帰りは認めません。

(2) 情報公開について

- ①「個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をする」ことを前提に「プラザの保有する情報を積極的に公開する」するよう努めます。
- ②本プラザに関しての情報公開として、「指定管理者が扱う業務に関する基本協定書」、「ケアプラザの管理に関する年度協定書」のほか下記のことを掲示、ファイリングして公開しています。また、「利用者アンケート結果」についてもファイリングして常時掲出していきます。

事業報告書	事業計画書	収支予算書
決算報告書	運営規定	契約書・重要事項説明書
所長へのご意見	倫理規程	第三者評価結果シート
個人情報保護に関する基本方針	組織図	個人情報保護に関する基本方針
特別避難場所の協力に関する協定		

- ③法人なでしこ会ホームページ上で法人の決算書の公開をしています。

キ 情報公開への取組について

本プラザにおいて情報開示の請求があった場合には、「個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をする」ことを前提に「プラザの保有する情報を積極的に公開する」するよう努めてまいります。

本プラザに関しての情報公開として、事業報告書、決算報告書、「利用者アンケート結果」等をファイリングして公開していきます。

また、第三者評価結果シートについてもファイリングして公開していきます。

さらに、本プラザ広報紙や区の広報、保土ヶ谷区社会福祉協議会ホームページ等を活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供してまいります。

ク 人権啓発への取組について

職員向けに毎年４月に行う全体職員会議の中において、本ケアプラザの倫理規程を再確認し、「利用者の尊厳・利益優先・受容」を中心とした啓発を実施します。

館内に成年後見制度、障がい者制度、消費者被害防止などに関するポスター、チラシを掲示して幅広い人権の啓発に取り組んでいきます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ごみゼロルート回収を実施し、市役所ごみゼロのルールに基づいた適切な分別・リサイクルを職場全体に浸透、定着させるよう引き続き努めます。

また、保土ヶ谷区役所と協力して施設の緑化推進に取り組みます。屋内外の植栽の維持管理等、環境保全にも協力していきます。

合築コミュニティハウスと協力して２階光庭部分をウッドデッキ化し、地域のボランティアを活用したガーデニングスペースとして更に緑化をすすめます。

「省エネ法」に基づく「管理標準」を策定し、適切なエネルギーマネジメントを目指します。

裏紙使用の推進、適正な冷暖房設定、不要な照明の消灯等、管理経費の削減とともに地球温暖化防止にも配慮していきます。

特に東日本大震災を受けた節電風潮も意識し、①不要スペースの消灯②事務機器の待機電力管理を実施します。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

職員体制	
管理者	1名（常勤兼務）
保健師等	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）
主任介護支援専門員	1名（常勤兼務）
介護支援専門員	1名（常勤専従）

目標
要介護認定で「要支援1」「要支援2」と認定された方々への介護予防プランを作成する。引き続き自立支援が図れるような目標設定をして、介護予防プランの作成を行う。

実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）
自己負担なし（全額保険給付）

その他（特徴的な取組、PR等）
サービス対象地域：鎌谷町・峰沢町・岡沢町・常盤台・和田1～2丁目・峰岡3丁目・上星川1～3丁目・釜台町 介護予防の相談は、保健師を中心として、主任介護支援専門員、社会福祉士が介護認定申請受付から認定後のサービスのケアプラン作成委託までをワンストップの窓口として機能します。 介護認定に以降された場合のケアマネ同行訪問をできるだけ行う等、居宅介護支援事業者とのスムーズな連携に努めていきます。

利用者目標（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
160	160	160	160	160	160
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	160	160	160	160	160

● 居宅介護支援事業

職員体制	
管理者	1名（常勤兼務）
介護支援専門員	3名（常勤専従）

目標
<p>居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、ご利用様が自立した日常生活を営むことができることを目標とします。</p> <p>地域包括支援センターと連携し、退院ケースや支援困難ケースに迅速に対応していきます。</p>

実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）
自己負担なし（全額保険給付）

その他（特徴的な取組、PR等）
<p>主任ケアマネジャーを配置し、特定事業所加算Ⅱを取得しています。</p> <p>毎週居宅介護支援会議を行い、担当ケースについての情報共有を図るとともに、研修も行い各ケアマネジャーのスキルアップに努めています。</p> <p>男性2名、女性1名のベテランケアマネジャーを配置し、利用者・ご家族の希望により男女の選択ができるようにしています。</p> <p>地域包括支援センターと連携して、独居・虐待等のいわゆる困難ケースの対応にも力を入れていきます。</p>

利用者目標（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
110	110	110	110	110	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
110	110	110	110	110	110

● 通所介護事業

提供するサービス内容
○入浴 ○食事 ○アクティビティ等 ○送迎

実費負担（徴収する項目ごとに記載）
○1割負担分 (要介護1) 704 円 (要介護2) 831 円 (要介護3) 963 円 (要介護4) 1,095 円 (要介護5) 1,227 円 (入浴介助加算) 54 円 (サービス提供体制加算Ⅱ) 7 円 ○食費負担 800 円 ○紙おむつ代/枚 80 円 ○紙パンツ代/枚 100 円

事業実施日数、提供時間
○事業実施日数 週 6 日 ○提供時間 9 : 30 ~ 16 : 35

職員体制
管理者 1 名（常勤兼務） 生活相談員 3 名（常勤兼務） 看護師又は准看護師 4 名（非常勤兼務） 介護職員 13 名（常勤兼務 4 名・非常勤兼務 9 名） 機能訓練指導員 4 名（非常勤兼務 4 名） 送迎員 4 名（非常勤兼務）

目標
ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状態に応じて、通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護と機能訓練を行います。

その他（特徴的な取組、PR等）

- ・高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています
- ・機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。
- ・心身状態重度の方の対応も積極的に行っています。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
570	570	570	570	570	570
10月	11月	12月	1月	2月	3月
570	570	530	530	530	570

介護予防通所介護事業

提供するサービス内容
<input type="checkbox"/> 入浴 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> アクティビティ等 <input type="checkbox"/> 送迎

実費負担（徴収する項目ごとに記載）
<input type="checkbox"/> 1割負担分 （要支援1） 1,766 円 （要支援2） 3,621 円 <input type="checkbox"/> サービス提供体制加算Ⅱ （要支援1） 26 円 （要支援2） 52 円 <input type="checkbox"/> 食費負担 800 円 <input type="checkbox"/> 紙おむつ代/枚 80 円 <input type="checkbox"/> 紙パンツ代/枚 100 円

事業実施日数、提供時間
<input type="checkbox"/> 事業実施日数 週 6 日 <input type="checkbox"/> 提供時間 9 : 30 ~ 16 : 35

職員体制
管理者 1名（常勤兼務） 生活相談員 3名（常勤兼務） 看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務） 介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名） 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名） 送迎員 4名（非常勤兼務）

目標
<p>ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状況に応じて、予防通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護とアクティビティを行います。</p>

その他（特徴的な取組、PR等）
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています ・機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
30	30	30	30	30	30
10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	30	30	30	30	30

◆認知症対応型通所介護事業

提供するサービス内容
<ul style="list-style-type: none"> ○入浴 ○食事 ○アクティビティ等 ○送迎

実費負担（徴収した項目ごとに記載）
<ul style="list-style-type: none"> ○1割負担分 （要介護1） 941 円 （要介護2） 1,042 円 （要介護3） 1,142 円 （要介護4） 1,244 円 （要介護5） 1,345 円 （入浴介助加算） 54 円 （サービス提供体制加算Ⅱ） 7 円 ○食費負担 800 円 ○紙おむつ代/枚 80 円 ○紙パンツ代/枚 100 円

事業実施日数、提供時間
<ul style="list-style-type: none"> ○事業実施日数 週 6 日 ○提供時間 9 : 30 ~ 16 : 00

職員体制
<ul style="list-style-type: none"> 管理者 1名（常勤兼務） 生活相談員 3名（常勤兼務） 看護師又は准看護師 4名（非常勤兼務） 介護職員 13名（常勤兼務4名・非常勤兼務9名） 機能訓練指導員 4名（非常勤兼務4名） 送迎員 4名（非常勤兼務）

目標
<p>ご利用者様が自立した日常生活を営むこと、及びご家族の負担軽減を目標に、ご利用者様の心身の特性を踏まえ、身体の状況に応じて、通所介護計画に基づいた入浴・排泄・食事等の介護と機能訓練を行います。</p>

その他（特徴的な取組、PR等）

高齢者通所介護・介護予防通所介護・認知症対応型通所介護の3事業を実施し、ご利用者様の要介護（要支援）認定区分や認知症状など心身の状況に応じてサービスを選択できるようにしています。

特に、認知症対応型通所介護（みどりデイサービス）についてはまだ地域に周知されておらず、宣伝・広報に力を入れています。

機能訓練の希望者には、平行棒歩行などの対応をしています（加算は取っていません）。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
150	150	150	150	150	150
10月	11月	12月	1月	2月	3月
150	150	150	150	150	150

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・子ども・障害分野への対応）

（目標）

○地域ケアプラザは、高齢者・障害者・子ども・子育て世代等の様々な地域住民にとっての身近な相談窓口であるとともに、福祉保健の拠点施設であることを、自治会町内会・老人会・サロン等様々な場を活用してPR・情報提供するとともに、様々な場面を通じて地域住民からの相談を聞き取ります。

（具体的な計画）

○様々な地域の集まり（老人会・食事会・サロン等）に参加し、直接参加者の方から困り事を聞き取ります。

○ときわカフェ、認知症カフェ等にケアプラザ職員が入って気軽に相談できる場面を作ります。また、日頃気になっている方に声をかけてお誘いするよう意識していきます。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

（目標）

○生活支援コーディネーターを含めた5職種が協働で各種事業を行うよう日頃から意識して業務にあたることを目指します。

（具体的な計画）

○今年度から実施する5職種会議において、個別の課題共有や地域分析の共有に努めます。

○5職種会議においては単なる情報共有にとどまらず、個別支援をいかに地域支援に結び付けていくか、各職種が考えながら役割を見出すことを意識しながら1年間すすめて行きます。

3 職員体制・育成

（目標）

○各部門別及び職員個人別に年間研修計画を作成し、職員の資質向上のため積極的な研修受講を奨励していきます。

また、法人全体で事業所間の相互交流が図れるよう検討します。

○事業所内で情報共有が図りやすい、風通しの良い組織風土を目指します。

（具体的な計画）

○法人全体で事業所間の相互交流が図れるよう現場職員による委員会を継続します。

○部門毎のミーティングを充実させるとともに、重要なテーマについては部門を超えたミーティングを持ち組織全体での情報共有を図ります。

4 地域福祉のネットワーク構築

（目標）

○本ケアプラザエリアである4連合町内会各々と相互に連携・協力できるよう連合町内会定例会、地区社会福祉協議会定例会、民生委員児童委員協議会、地区懇談会、運営協議会等の機会を捉えて、一歩踏み込んだ話し合いができる関係づくりを目指します。

○横浜国立大学や近隣の小中学校との連携を更に推進します。

○子どもや障がい児等の関係づくり、ネットワークづくりをすすめます。

（具体的な計画）

○エリア内4連合地区の定例会に出席するとともに、課題の共有や投げかけに努めます。

○ワークショップ等を通じて横浜国立大学と地域住民の関係づくりをすすめます。

- イベントや地域の防災訓練、認知症サポーター養成講座等を通じて近隣小中学校との連携を深めます。
- 子育て支援連絡会等を通じて、関係者間の課題共有に努めます。
- 発達障がい児向けの事業を通じて親同士、子供同士の関係づくりをすすめます。

5 区行政との協働

(目標)

- 本年度は保土ヶ谷区地域福祉保健計画「ほっとなまちづくり」第3期計画の推進に向けて、区役所・区社会福祉協議会と協働して計画実行の一助を担ってまいります。
- 本年度は第3期計画の実行初年度になっており、エリア内各地区における地区懇談会を継続し、実現可能で現実的な議論を深めることを目指します。
- 高齢者見守り支援事業を区役所と協働で充実させていきます。
- 障がい児余暇支援事業を区役所・区社会福祉協議会・自立支援協議会等と協働ですすめます。

(具体的な計画)

- エリア内4地区それぞれにおいて第3期地区別計画の推進の一助を担います。ケアプラザとして把握している課題の地域との共有に努め、議論のきっかけを提案します。
- SOSネットワークをはじめとする高齢者見守り支援事業を区役所と連携してすすめます。
- ほっとフレンズ等の障がい児余暇支援事業を区役所・区社会福祉協議会・自立支援協議会等と協働ですすめます。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(目標)

- 地域に向けて更に細やかな情報発信をしていきます。
- 自治会・町内会等から得た情報を集約して、地域に広く広報していくお手伝いをしていきます。
- 生活支援コーディネーターと連携して地域の情報収集に努めます。

(具体的な計画)

- ケアプラザの自主事業などや役割などチラシだけでなく、来館者に丁寧に声かけをして解りやすく発信していきます。
- 常盤台・和田地区社会福祉協議会の広報委員として、地域活動の周知・広報に努めます。
- 各連合町内会定例会に参加して情報発信し、地域に幅広く周知・広報するように努めます。
- 生活支援コーディネーターとの情報交換を密にして、幅広く活動情報を収集して、それをまた広く地域に発信していきます。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

(目標)

- 貸室利用団体の活動を更に周知し、地域で活動情報を共有することで、ケアプラザエリア全体の福祉保健活動が活性化することを目指します。

(具体的な計画)

- 貸室利用団体及び利用されていない方にも日々の声掛けをして利用しやすいように伝達していく。

○利用者団体の内容を冊子にして、誰がどのような活動をしているのかをわかりやすい方法で発信し、地域全体で情報を共有していく（秋頃完成予定）。

3 自主企画事業

（目標）

○高齢者だけでなく多世代が参加しやすい内容の企画を開催していく。

（具体的な計画）

新しい取組として以下を実施していく。

○父親育児支援講座の開催。

○障がい児の余暇支援として、親子での外出企画。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

（目標）

○ボランティアの活躍の場所として、ケアプラザで活動しやすいよう、様々な情報交換と情報発信をしていく。

○ケアプラザ以外でのボランティア活動についても、日頃から情報収集して機会をとらえて促すよう意識していきます。

（具体的な計画）

○ボランティア感謝祭を開催して互いの交流を図り、日頃の悩みや要望などをキャッチして活動しやすくするとともに、所属団体以外の活動についても周知して参加を募っていく。

○いきいきポイント利用の周知を行い、ケアプラザ以外でも活動範囲が拡充できるように情報を発信し、機会をとらえて促すよう意識していく。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

（目標）

○地域の身近な相談窓口として介護保険に関する相談だけでなく介護予防・権利擁護・地域情報等様々な分野の相談について、5職種、関係機関と連携します。

○統計を有効利用して地域支援に生かせるようにいたします。

（具体的な計画）

○4地区ごとのわかりやすい表を作成して地区の傾向を把握、地域課題を情報共有することで相談に生かし、地域のインフォーマルサービスの構築へつながるよう連携いたします。

○地域における個別ケースの課題から地域課題を検討し地域ケア会議等生かせるようにいたします。継続的にフォローが必要な場合チームで支援致します。

地域包括支援ネットワークの構築

（目標）

○既存の地域事業を継続しネットワークの充実を図ります。

○各地区の自治会、民生委員と連携し、地域における情報交換や課題把握、ネットワーク構築を図ります。

○地域ケア会議を開催し、地域のネットワーク構築を図ります。

○地域のケアマネジャーと連携し、ネットワーク作りを支援します。

（具体的な計画）

- 認知症ネットワーク（SOS）、ときめいと、認知症カフェ、ピーポーワン、多職種連携会議、民生委員とCM交流会などを海賊し、ネットワークの充実を図ります。
- 各地区の自治会と連携し、老人会や会食会、体操教室、出張講座等の地域活動への参加を通して、地域における情報交換や課題を把握します。
- 地域ケア会議を開催し、地域、医療機関、福祉など、関係者のネットワーク作りを支援します。
- ケアマネ連絡会を通じ、地域包括ケアの周知と、連携の充実に協力を呼びかけます。
- 自主事業を通じて他分野の専門家の方と連携し、地域の問題解決に活かします。
- 「ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業」では、民生委員や区役所との連携を強化します。

実態把握

- （目標）
- 個別情報を収集し、実地に利用できる統計・分析を行います。
 - 整理された情報を職員間で共有し地域の実態把握を広く厚みのあるものにします。
- （具体的な計画）
- 個別情報の経過を追う為、ケアマネジャーとの連携を強化します。
 - ①事例相談、同行訪問などケアマネジャーが相談しやすい環境作りをします。
 - ②地域ケアマネジャー対象に、地域包括ケアの必要性を周知し、情報収集に協力を求めます。
 - 多職種連携会議、地域ケア会議、地区社協運営会議、SOS 協力機関、サポーター養成講座、認知症カフェ、ピーポーワン、ときめいと連絡会、国大ワークショップ等を通して、情報提供を依頼します。
 - 各自治会の老人会や会食会、体操教室、出張交差等の地域活動へ参加し、情報交換、地域課題の把握を図ります。
 - 民生委員と密な連携を構築し、随時発生する事案に対し、個別相談、同行訪問により、実態把握します。
 - 「ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業」を通し、民生委員や区役所と連携して、実態を把握します。
 - マップの情報を随時更新します。

2 権利擁護

権利擁護

- （目標）
- 終活講座として受講対象者を地域の方向けに年齢層を広げて開催します。
 - 成年後見制度をあんしんセンターの日常生活自立支援事業と合わせて講座開講します。
- （具体的な計画）
- 1回目は「遺言・相続」講座は市民公開講座として無料相談会と合わせて開催します。
 - 2回目は「終活講座・断捨離」のテーマで福祉整理の講座をコミュニティーハウス・地域の福祉施設と合同で開催予定です。合同開催することで、世代も幅広く様々な方に参加していただくことが目標です。
 - 昨年度に引き続きより多くの方に成年後見制度、日常生活自立支援事業について理解していただけるよう、また、制度利用につながるよう講座を企画します。

高齢者虐待

- （目標）
- 高齢者虐待の早期発見早期対応につながるよう高齢者虐待防止対応マニュアルを活

用して、認識を深めたうえで訪問介護・通所介護事業所、福祉施設へ「虐待」「成年後見制度」の研修企画を提案します。

(具体的な計画)

- 常盤台地域ケアプラザ包括支援センター単館開催ではなく、保土ヶ谷区内地域包括支援センター主催で、見守りネットワーク構築を目的の一つとして「虐待」「権利擁護」研修を開催します。訪問介護・通所介護事業所、福祉施設へ出向いて「虐待」「権利擁護」を研修企画として提案して情報をアウトプットできるようにします。

認知症

(目標)

- 住みなれた地域で、認知症の方でも、高齢になっても安心して過ごせる地域づくりを目指します。そのために様々な講座を企画して、認知症の理解が深まるよう働きかけてまいります。

(具体的な計画)

- サポーター養成講座・「保土ヶ谷中央病院」を今年度初回スタートとして開催し、小さい単位の自治会や住宅街で出張講座を開催するとともに、地域包括支援センターの周知をしていきます。常盤台小学校・保土ヶ谷中学校・横浜国大などで開講予定です。「ピーポーワン」登録者にも参加をお願いしています。
キャラバンメイト「ときメイト」のメンバー中心に企画をして実施します。
- 認知症高齢者見守り事業「ピーポーワン」は平成27年秋より事業開始、登録者約40名です。今後も市街地・近隣の公園やケアプラザ前などでボランティア登録を呼びかけていきます。
- 「オレンジ・ボラ」事業では「オレンジカフェ」へ参加を呼びかけて、認知症の方が更に活躍できるよう工夫します。
- 認知症カフェは平成27年12月に初回開催、春には「さくらカフェ」を開催しており、今年夏には「レコードカフェ」「夕涼みカフェ」を企画しています。開催時間帯や場所、開催内容を検討し参加者増員につながるよう企画します。
- 認知症家族の会「ゆうづる」は隔月に参加を呼びかけています。引き続き介護者の癒しの場・情報交換の場として継続致します。
- SOS(徘徊)ネットワークを更に多くの方に周知して、地域の緩やかな見守りの目を増やすことで、安心して過ごせる地域づくりを目指します。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

(目標)

- 介護予防の視点をもったケアマネジャーの育成。

(具体的な計画)

- ケアマネジャーがケースワークに留まらず、地域の高齢者の方々全体の自立支援に視野を広げられるよう、事例検討会などを通じ働きかけます。
- 事例検討会を毎月開催し、ケアマネジャーのプラン作成支援、事例対応能力の向上を図ります。
- 介護予防体操等をケアマネジャーが体験できる機会をもうけ、体力向上を踏まえたケアマネジメントの重要性を知っていただきます。
- 予防成功事例をケアマネジャーにフィードバックし、ケアマネジメントの方向修正を図ります。
- 新任ケアマネジャー対象の研修を行い、介護予防、自立支援の考え方を学ぶ場とします。
- ケアマネジャーからの個別相談に対し、介護予防、自立支援を踏まえたケアプラン作成支援、困難事例支援、家族調整、他機関との調整、同行訪問、担当者会議出席などの対応をします。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

(目標)

- 地域包括ケアの実践を目指します。
- 地域の方、多職種の方々と共に地域の情報収集を行います。
- 地域ケア会議で地域課題を検討します。
- 地域ケアプラザ内での情報共有を推進します。

(具体的な計画)

- 地域包括ケアの周知の機会を作ります。
 - ①各自治会・町内会・老人会等のサロン等を利用し、出張講座を開催介護保険制度、地域包括ケア等の説明をします。
- 地域課題を把握し、関係者と共有します。
 - ①相談票の統計から地域課題を抽出、地域ケア会議で検討します。
 - ②ひとり暮らし高齢者「地域で見守り推進事業」で、民生委員と協力し情報収集、訪問を行います。
 - ③民生委員とケアマネジャーの交流会を開催し、地域の課題解決を協働できるネットワークの構築を図ります。
- 地域ケア会議で抽出された地域課題を包括圏域の地域ケア会議に挙げ、地域全体の課題として取り組みます
- その上で抽出された地域課題の解決につなげられる協議体での地域ケア会議、多職種連携会議等で検討、解決を図ります。
- 新たに生活支援コーディネーターを加えた5職種の定例会を実施し、情報共有を促進します。

医療・介護の連携推進支援

(目標)

- 多職種間のネットワークを構築します。
- ネットワークを個別事例で活かせる様、配慮します。

(具体的な計画)

- 多職種連携会議を開催し、連携の意識付け、共通の課題抽出、ネットワーク構築を図ります。
 - ・星川ケアプラザと2包括共催、保土ヶ谷区7包括共催の2回の多職種連携会議を開催します。
 - ・開催に先立ち、包括圏域の医療期間、福祉関係機関をまねなく訪問し、地域包括ケアの説明を行うと共に、協力を仰ぎます。
 - ・また、保土ヶ谷区医師会、同歯科医師会、同薬剤師会、医療連携拠点等の協力を依頼し、各組織との交流を致します。
- ケアマネ連絡会に専門職の協力を仰ぎ、連携の基礎作りをします。
 - ・認知症専門医を招き、認知症の方の支援方法を学ぶ場を設けます。
 - ・権利擁護(虐待)の専門職、精神保健福祉士、相談援助の専門職など、各分野の指導者を招き、学びの場を提供します。
- ケアマネジャーの事例検討会を活用し、多職種との連携の場を提供します。
 - ・医師、薬剤師、管理栄養士、看護師を招き研修、連携の場とします
 - ・施設相談員、区社協ケースワーカーなど広範囲に渡る福祉関係者を招き各々専門職としての実務を学び連携点を把握します。
- 地域ケア会議に医療介護の多職種を招き、各々の専門的観点から意見を頂きます。
 - ・各々の課題解決に必要な専門職種を見極め、招き、意見を頂きます。
- 地域の開業医院、中核病院と連携します。
 - ・随時、個別の情報交換、支援依頼の為に、連絡、訪問します。

- ・医療機関の連携会議やセミナーに出席し、関係を強化します。
- 個々のケースについて、主治医、地域連携室、退院調整看護師と連携します。

ケアマネジャー支援

(目標)

- 新任ケアマネジャーが適切なマネジメントができるよう支援します。
- ケアマネジャーの困難時の対処能力向上を図ります。
- 地域包括ケアの担い手となっていただきます。
- ケアマネジャー全体のレベルアップ(底上げ)につながるようきめ細かく支援していきます。

(具体的な計画)

- 新任ケアマネジャー研修を実施します。
 - ①座学により、横浜市のサービス、他法、インフォーマルサービス等を学ぶ場を設定します。
 - ②個別に臨場体験同行します。
 - ③施設見学をし、各々の施設の差異を学ぶ場を提供します。
 - ④市福祉機器センターで福祉機器、在リハ等を学びます。
- 事例検討会で困難事例の対応方法を学ぶ機会を作ります。
 - ①グループワークで対応方法を検討します。
 - ②多職種の講師から学ぶ機会を設け、マネジメントに活かします。
- 個別相談を受け、自身で解決できるよう、支援します(特に経験の浅いケアマネジャーに対して)。
 - ①電話相談、面接相談、同行訪問、サービス担当者会議開催支援、地域ケア会議により支援します。
 - ②情報提供継続支援を行います。
 - ③区役所、社協、民生委員、地域資源、医療機関、警察等多職種との仲介を支援します。
 - ④ケアマネ連絡会を定期開催し、学びの場を提供します。
 - ⑤日頃から居宅介護支援事業所を訪問、情報提供すると共に、相談しやすい環境を作ります。
- 地域包括ケアの意識付けをします。
 - ①主任ケアマネジャー連絡会を開催し、地域包括ケアを学ぶ場とします。
 - ②民生委員と連絡会を開催し、地域包括ケアを協働することができるよう、働きかけます。
- 民間事業所の主任ケアマネジャーに対してフェシリテーション研修を行い、ケアマネジャー支援の一助を担ってもらえるよう働きかけます。
- 区ケアマネジャー連絡会である「ほどがやケアマネット」の幹事として研修開催の支援をします。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

(目標)

- 生活圏域での多職種連携の充実を目指します。

(具体的な計画)

- 既存の連携に留まらず、新しい視点を模索し地域資源を掘り起こします。○地域ケア会議に於いて、課題解決に繋がる職種の参加を依頼します。
- 多職種連携会議を生活圏域で継続実施し、連携の充実を図ります。
- 医療機関と協働しケアマネジャーとの連携の場を提供します。
- 事例検討会のゲスト、地域ケア会議の参加者として多職種の方々を招き、互いの関係構築を支援します。

介護予防事業

介護予防事業

(目標)

- 既存の各グループへの後方支援等、継続的に行っていきます。
- きらりシニア塾、新規立ち上げに向け、区と連携を取りながら進めていきます。
- ケアプラザから遠い地区（鎌谷町等）での介護予防事業を支援します。
- 地区診断を元に課題のある地域への働きかけを行っていきます。

(具体的な計画)

- きらりシニア塾、今年度の目標である3ヶ所立ち上げに向け支援して行きます。
- 前年度に引き続き、各体操グループ・リーダー連絡会・交流会を開催し意見交換、ネットワーク構築を目指します。
- 既存のきらりシニア塾の後方支援を継続的に行います。
- 今年度は課題の多い地域（鎌谷町等）で、介護予防事業を展開し、新たな担い手の発掘及び自主化に向けた支援を積極的に進めていきます。

生活支援体制整備

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

(目標)

- 地域特性の把握のため、既存の資源から情報を収集・整理して地域アセスメントを行います。
- 既存の資源から情報を収集して整理することで、具体的なニーズ・課題を見出していきます。

(具体的な計画)

- 既に把握している人口構成、地形や地域の特徴などの情報を元に、それぞれの地域の特性を分析・把握していきます。
- ケアプラザや地域で行っている活動等の情報を収集するとともに活動状況を把握・分析していきます。

圏域レベルの協議体の設置・開催

(目標)

- 日常生活圏域での定期的な情報共有・連携強化の場として協議体を開催します。

(具体的な計画)

- 年度後半に1回開催を目指して開催方法の検討を致します。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

(目標)

- ニーズ・資源の把握分析を踏まえて目標・計画を設定します。

(具体的な計画)

- 課題を達成するために長期目標と短期目標を設定していきます。

具体的な取組事項への着手

(目標)

- 目標設定を踏まえて着実に取り組みます。

(具体的な計画)

- 他職種とも連携して、目標に対して既存資源の活用と新規資源の開発を検討します。

平成28年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名: 横浜市常盤台地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	15,089	27,155	0	0	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	149	5,100	22,053	57,095	2,287	20,636	0
	その他	350	25	0	0	486	7,804		1,350	0
	自主事業参加費	350	25	0	0	0	0		0	0
	認定調査委託料	0	0	0	0	486	0		0	0
	利用者負担金	0	0	0	0	0	5,120		1,350	0
	借入金利息補助金	0	0	0	0	0	224		0	0
	受取利息配当金	0	0	0	0	0	5		0	0
	借入金償還金補助	0	0	0	0	0	2,250		0	0
	雑収入	0	0	0	0	0	205		0	0
収入合計(A)	15,439	27,180	149	5,100	22,539	67,186		21,986	5,789	
支出	人件費	10,030	24,437	0	4,808	18,205	40,480		15,608	5,480
	事務費	1,688	1,337	0	123	1,154	1,839		673	
	事業費	864	861	149	0	0	5,860		1,791	309
	管理費	2,055	545	0	625	1,025	7,745		2,971	
	その他	802	0	0	0	0	9,070		50	0
	消費税	802	0	0	0	0	0		0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	70		50	0
	借入金元金償還金	0	0	0	0	0	3,000		0	0
	修繕積立金	0	0	0	0	0	1,000		0	0
	拠点区分間繰入金	0	0	0	0	0	5,000		0	0
支出合計(B)	15,439	27,180	149	5,556	20,384	64,994		21,093	5,789	
収支 (A) - (B)	0	0	0	-456	2,155	2,192		893	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ときわの森 子育て広場	親子	41,040	0	13,500	30,000	6,000	5,040
	15組×9回						
	100円						
子育て広場「プール」	親子	1,680	0	0	0	0	1,680
	20組×3回						
	0円						
ときわの森ハハトコ広場	親子	2,240	0	0	0	0	2,240
	10組×4回						
	0円						
ニコニコママの子育てコーチング	親子	1,680	0	0	0	0	1,680
	20組×3回						
	0円						
幼児のための短期救急法	成人	5,000	0	2,000	0	5,000	0
	20名×1回						
	100円						
ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	成人・高齢者	66,100	0	40,000	60,000	500	5,600
	20名×10回						
	200円						
囲碁教室	成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	10名×22回						
	0円						
ときわの森 レッツトライステップエアロ	成人・高齢者	107,200	0	72,000	96,000	0	11,200
	10名×24回						
	300円						
ときわの森 ときもり倶楽部	高齢者	16,000	0	0	0	6,000	10,000
	10名×50回						
	0円						
和菓子&パン教室	成人・高齢者	51,360	0	34,000	36,000	12,000	3,360
	10名×6回						
	500円×4回・700円×2回						
親子で作る和菓子教室	成人・親子	10,560	0	5,000	6,000	4,000	560
	10名×1回						
	500円						
歌声サロン	成人・高齢者	61,000	0	60,000	36,000	15,000	10,000
	50名×12回						
	100円						
認知症サポーター養成講座	小中高生・成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	20名×10回						
	0円						
介護者のつどい	介護者	0	0	0	0	0	0
	10名×5回						
	0円						

平成28年度 自主事業収支計画書

ときわカフェ	成人・高齢者	23,000	0	18,000	0	15,000	8,000
	30名×12回						
	50円						
園芸ボランティア活動	成人	15,720	0	0	0	9,000	6,720
	10名×12回						
	0円						
音と音楽で遊ぼう	障害児	128,220	0	0	120,000	1,500	6,720
	10名×12回						
	0円						
ヘルキー秋フェスタ	地域	80,000	0	70,000	0	0	80,000
	400名×1回						
	物販として						
ワークショップ	地域	0	0	0	0	0	0
	30名×3回						
	0円						
ときわの森 七夕コンサート	地域	40,000	0	0	0	40,000	0
	250名×1回						
	0円						
父親育児支援講座	幼児	3,680	0	0	0	2,000	1,680
	15名×3回						
	0円						
貯筋運動	成人・高齢者	13,000	0	0	0	0	13,000
	30名×24回						
	0円						
保土ヶ谷区民まつりの参加 「地域活動交流ブース」	子供・成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	350名×1回						
	0円						
保土ヶ谷区民まつりの参加 「介護予防ブース」	子供・成人・高齢者	0	0	0	0	0	0
	200名×1回						
	0円						
秋の利用者発表会	子供・成人・高齢者	40,000	0	35,000	0	40,000	0
	200名×1回						
	物販として						
親子で楽しむクリスマス人形 劇	親子	7,000	0	1,500	5,000	2,000	0
	15組×1回						
	100円						
第8回桜まつり	地域	50,000	0	10,000	0	50,000	0
	550名×1回						
	物販として						
中学生のための楽しいボラン ティア講座	中学生	500	0	0	0	0	500
	10名×1回						
	0円						
救急法基礎講習&救急員養 成講習	成人	32,560	0	32,000	0	32,000	560
	10名×3回						
	3200円(3回分)						

平成28年度 自主事業収支計画書

留学生から学ぶ初級韓国語講座	成人	48,000	0	48,000	48,000	0	0
	10名×24回						
	200円						
ボランティア感謝祭	ボランティア	20,000	0	0	0	20,000	0
	30名×1回						
	0円						
スクエアステップでエクササイズ	成人・高齢者	6,000	0	0	0	0	6,000
	20名×11回						
	0円						
スポーツ吹き矢	成人・高齢者	19,000	0	18,000	0	19,000	0
	15名×24回						
	50円						
遺言・相続税についての講座	成人・高齢者	500	0	0	0		500
	20名×1回						
	0円						
社交ダンス	成人・高齢者	24,000	0	0	24,000	0	0
	15名×12回						
	0円						
プチサロン	地域	10,000	0	3,000	0	10,000	0
	10名×3回						
	100円						
ほっとフレンズ2016	障害児	0	0	0	0	0	0
	20名×4回						
	0円						
		925,040	0	462,000	461,000	289,000	175,040

平成28年度 自主事業計画書

横浜市常盤台地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ときわの森 子育て広場	<p>目的：親子のふれあいの場と親子同士の交流の場を目的とする。</p> <p>内容：読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせ会及び下記に内容で開催。</p> <p>(4月) お医者様の話し (5月) リズム遊び (6月 (9月) 親子で体操・食育について (10月) 緑川先生と親子体操 (11月) お医者様のお話 (1月) リズム遊び (2月) おはなし会とおひなさま作り (3月) 幼児救急法</p>	平成28年4月～ 平成29年3月 毎月1回 原則第4木曜日 計9回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て広場「プール」	<p>目的：水遊びを通して親子の交流を図る。</p> <p>内容：デイサールームに面した庭でビニールプールで水遊びをボランティアと一緒に遊ぶ。</p>	平成28年7月～ 平成28年8月 原則第4木曜日 計3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ときわの森 ハハトコ広場	<p>目的：土曜日の午前中にたも多目的ホールを解放して、平日来られない父親にも来てもらう。</p> <p>内容：カプラや絵本などで広いスペースで親子同士で交流する。</p>	平成28年4月9月 11月平成29年3月 第1土曜日 計4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ニコニコママの 子育てコーチング	<p>目的：子育てが気持ちから楽にできる事を目的とする。</p> <p>内容：子育てコーチングの講師を招いて会話形式ですすめていく。</p>	平成28年6月10月 12月 第1木曜日 計3回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
幼児のための短期救急法	目的：いざという時のために子育て中の親を対象とした短期救急法講座。 内容：けがや子どもに起こりやす事故を学ぶ。	平成29年3月 計1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 らくらくストレッチ体操教室	目的：高齢者を対象とした転倒予防などを目的とした体操教室。 内容：椅子を使用して無理なくストレッチと体操をする。	平成28年4月～ 平成29年3月 毎月1回 原則29日 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
囲碁教室	目的：地域住民の囲碁を通して交流を図り、日本の伝統文化を地域に伝承していく。 内容：誰もが親しめるよう日曜日にボランティアとして講師を招き行う囲碁教室。	平成28年4月～ 平成29年3月 毎月2回 原則第2・4日曜日 計22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 レッツトライス テップエアロ	目的：中高年、子育て中の母親など、日頃の運動不足解消。 内容：規定のステップ台を使用して行うエアロビクス。中高年を対象にし、音楽に合わせて身体を動かすことで、ストレス解消や心身ともに健康になるため若い時からの介護予防を目的とする。	平成28年4月～ 平成29年3月 毎月2回 原則第1・3水曜日 計24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 ときもり倶楽部	目的：地域のボランティアが中心となって、近隣の高齢者に声をかけケアプラザに集まることで、引きこもり予防や認知症予防・介護予防につながっていく。 内容：はまちゃん体操・脳トレーニング・カラオケ・茶話会折り紙教室など行う。	平成28年4月～ 平成29年3月 毎月4～5回 毎週水曜日 計50回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
和菓子&パン教室	目的：比較的若い世代の方々に気軽に参加してもらうことを目的とした料理教室。出来ればケアプラザにおける調理ボランティアの発掘にもつなげたい。 内容：隔月で開催 種類を変えて、パンや和菓子など初めての方中心で作りやすいメニューを講師と一緒に作成し試食する。	平成28年4月6月8月10月12月平成29年2月 原則偶数月1回 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で作る和菓子教室	目的：夏休み中に親子で参加して、手作りの和菓子を通じて交流を図る。 内容：親子で行う和菓子のづくり。	平成28年7月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声サロン	目的：地域住民が歌う事を楽しみにし声を出すことで脳の活性化につながる。又、歌を通じて集うことで引きこもり予防も図る。 内容：ピアノの伴奏にあわせて、なつかしい歌をみんなで歌う。四季に応じて選曲した歌詞カードを用意し、季節感を楽しんでいただく。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回 原則第1火曜日 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症を正しく理解する事で、認知症の方々へのサポーターを増やす。 内容：各地域の自治会・ケアプラザの参加者・地域住民に向けて認知症の理解を深める講座を開催する。	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護されている方々の心のケアと情報交換などを行う交流会。 内容：原則隔月で開催。懇談会や施設見学を予定している。	平成28年5月7月9月11月平成29年1月3月、年6回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわカフェ	目的：多目的ホールを活用し、ケアプラザ・コミュニティハウスに気軽に立ち寄れる憩いの場所を目的とする。 内容：民生委員とボランティアが協力して、手作りケーキ付きでコーヒーやお茶を100円で提供する。障がい者施設による手作りパンの販売も行う。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回 原則第4金曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸ボランティア活動	目的：ケアプラザ・コミュニティハウスの共用部分の庭などの整備をボランティア中心で活動し、交流を深めていく。 内容：季節の花植え・野菜の栽培などを定期的に行ってもらう。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回 原則第3月曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音と音楽で遊ぼう	目的：障がい児の余暇支援（放課後支援） 内容：特別支援教育士のもと打楽器・ピアノなどを利用して音楽を通じて発達に片寄りのある子どもを対象に特別支援感覚の統合・調整を行う。	平成28年4月～平成29年3月 毎月1回 原則第1木曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘルキー秋フェスタ	目的：ケアプラザ・コミュニティハウスの共催イベント。地域住民にの交流の場として、又子供から大人まで多くのボランティアが関わっていくことで地域とのつながりを目指すとしている。 内容：保土ヶ谷中学吹奏楽演奏・各種手作り品販売・ときわカフェの開催・福祉用具の展示と体験など。	平成28年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ワークショップ	目的：老後も住み続けられるまちづくりをテーマにした地域住民によるワークショップ。 内容：地域住民が集まり、横浜国立大学関係者のサポートを得て年間数回の会合を持つ。常盤台地区にとって必要な取り組みを検討し、地域で連携して老後も住み続けられる地域づくりをすすめる。	平成28年7月10月平成29年2月、年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ときわの森 七夕コンサート	目的：地域の方々に近隣の大学生と小学生の吹奏楽を楽しんでもらう事で地域の交流をはかる。 内容：横浜国立大学吹奏学団と常盤台小学校のマーチングバンドの演奏会の開催（7月）。	平成28年7月 年1回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
父親育児支援講座	目的：母親だけでなく、父親も育児に携わるきっかけを作るための講座。 内容：講師を招いて、父親育児のはじめの一步、読み聞かせ、座談会などを開催予定。	年3回土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貯筋運動教室	目的：寝たきり予防を目的とした運動教室。 内容：鹿屋大学が考案した主に足腰の筋肉を鍛えられる運動を毎月2回継続して行う。	平成28年4月～ 平成29年3月第 1・3木曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保土ヶ谷区民 まっりの参加 「地域活動交流 ブース」	目的：区民が多数来場する「保土ヶ谷区民まつり」の区内全ケアプラザ担当職員参加する事で、地域住民にとってケアプラザが身近で気軽に立ち寄れる場所である事を周知するための参加。 内容：パネル展示・来場者に保土ヶ谷やケアプラザ情報を周知できる内容での企画を計画して開催する。	平成28年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
保土ヶ谷区民 まっりの参加 「介護予防ブ ース」	目的：地域住民へ介護予防の普及啓発を行う。 内容：区役所高齢障害支援課と包括支援センターと一緒に体操や保健指導などを行う。	平成28年10月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋の利用者発表会	目的：団体登録をしている方々の成果発表会。 内容：歌や演奏、ダンス、作品展示等を一日かけて行う。利用団体の日頃の努力の成果をお互いに披露しあう。	平成28年11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しむ クリスマス人形 劇	目的：日曜日に親子同士で楽しいひと時を人形劇を通じて交流を図る。 内容：クリスマス人形劇の開催。	平成28年12月 1回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
第8回桜まつり	<p>目的：ケアプラザとコミュニティハウスの共催イベント。地域住民に楽しんでいただくとともにケアプラザ・コミュニティハウスに関心を持っていただく機会の提供。</p> <p>内容：バザーの開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズフリーマーケット。 ・ボランティアと職員の共同作業による手作りちらし寿司・焼きそば・桜もちなどの販売。 ・園芸ボランティアによる花販売。 ・近隣農園の方による野菜販売。 ・民生員によるときわカフェの開催。 	平成29年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中学生のための楽しいボランティア講座	<p>目的：近隣の中学生を対象にボランティアに関心もってもらうための講座。</p> <p>内容：ボランティアについてと認知症についての理解の話しを行う。デイサービスでのレクリエーション体験。</p>	平成29年3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝祭	<p>目的：ケアプラザ内外で活動されているボランティア同士の交流を目的とする。</p> <p>内容：地域のボランティアによる演奏会、昼食会、懇談会を開催。</p>	平成28年6月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
救急法基礎講習 & 救急員養成講習	<p>目的：赤十字救急法を学びいざという時の対処を身につける。</p> <p>内容：三日間で心肺蘇生法・AEDの使用方法・傷の手当て・三角布の使用方法・救急搬送・担架搬送などを学ぶ。</p>	平成29年1月に 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
留学生から学ぶ初級韓国語講座	<p>目的：横浜国立大学の留学生と地域住民と語学を通じた交流を図る。</p> <p>内容：基本的な単語・文法・会話などを楽しく学ぶ。</p>	平成28年4月～ 平成29年3月毎月第1・3火曜 24回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ でエクササイズ	目的：地域の自治会サロンなどの活動している民生委員ボランティアの方々に習得したリーダーを中心として地域の高齢者などを対象にして介護予防・認知症予防を目的とした活動を担ってもらう。 内容：筑波大学の講師が開発したマットを活用し変則的なステップを踏んでいくことで、脳手レーニングと運動を一緒に行う。	平成28年4月 5月・6月・7月 10月・11月 12月 平成29年1月・ 2月 年11回
スポーツ吹き矢	目的：年齢を問わずに誰でもでき、腹式呼吸をベースに精神力や集中力・血行促進と細胞の活性化など健康増進効果を目的としている。 内容：専用の危険のない矢を用いて的に当てるというスポーツ吹き矢。講師をボランティアで招いて、地域住民に向けに開催。	平成28年4月～ 平成29年3月 毎月2回 原則第2・4水曜 日 年24回
遺言・相続税に ついての講座	目的：古い支度に関するテーマの講座で権利擁護への認識を高めてもらう。 内容：司法書士を招いて、遺言相続、年金や老後のお金に関する講演。	平成28年6月1 回
社交ダンス	目的：ダンスのステップなど脳トレーニングをすることで、介護予防認知症予防を図る。 内容：講師を招いて、運動靴でもできる社交ダンス主に高齢者を対象に開催する。	月1回 年12回 予定
プチサロン	目的：高齢者を中心とした、認知症予防・介護予防。 内容：手先を使ったビーズの小物や編み物などを皆で一緒に作成する。	平成28年11月 平成29年2月3 月 3回
ほっとフレンズ 2016	目的：障害を持っている子どもたちを対象とした余暇支援。同時にボランティアに障がいに関して理解を深めてもらう機会とする。 内容：レクリエーションとしてはる・なつまつりを模擬店などを中心に開催する。開催前にボランティア事前研修、説明会を行う。	平成28年8月、 平成29年3月、 4回（説明会含 む）